

# 令和2年度 第1回太田地域協議会会議録

令和2年5月12日

太田地域協議会

## 令和2年度 第1回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■支所長あいさつ・職員紹介	2
■委嘱状の交付	2
■会長及び副会長の選任	3
■会議録署名委員の指名	5
■報告	5
(1) 第5期地域協議会委員及び委員の役割等について	5
(2) 令和元年度地域枠予算活用事業実績報告について	6
(3) 令和2年度地域枠予算概要について	7
(4) 地域の魅力再発見事業について	9
(5) 地域公共交通の再構築（案）について	10
(6) 令和2年度太田支所主要事業について	11
■その他	12
■閉会	15
■署名	16

# 令和2年度 第1回太田地域協議会 会議録

---

■日 時：令和2年5月12日 午前10時02分

■会 場：太田支所 2階 会議室

■出席委員：10名

小 松 江里子、 水 谷 仁 光、 倉 田 吹紀子、 藤 本 重 政、  
安 達 京 子、 熊 谷 隆 雄、 高 橋 英 子、 佐 藤 隆 康、  
伊 藤 和 子、 高 橋 直 博

■欠席委員： 2名

鈴 木 賢 一、 長 澤 宏 明

■出席職員： 8名

谷口 藤美（支所長）	藤澤 寿史（市民サービス課長）
黒澤 伸朗（農林建設課長）	田中 勲男（中仙・太田建設水道事務所長）
草薨 晶子（公民館長）	小林 崇元（東部新規就農者研修施設副主幹）
高橋 正人（地域活性化推進室主幹）	板谷 予理子（地域活性化推進室主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 支所長あいさつ・職員紹介
- 3 委嘱状の交付
- 4 会長及び副会長の選任
- 5 会議録署名委員の指名
- 6 報 告
  - (1) 第5期地域協議会委員及び委員の役割等について
  - (2) 令和元年度地域枠予算活用事業実績報告について
  - (3) 令和2年度地域枠予算概要について
  - (4) 地域の魅力再発見事業について
  - (5) 地域公共交通の再構築（案）について
  - (6) 令和2年度太田支所主要事業について
- 7 そ の 他
- 8 閉 会

---

(午前10時02分 開会)

### ○谷口支所長（以下「支所長」と表記）

定刻を若干過ぎてしまいました。申し訳ございません。それでは、ただ今から令和2年度最初の太田地域協議会を始めさせていただきます。私は太田支所長の谷口です。どうかよろしくお願いいたします。本日は皆様お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今年2月初め、横浜港に停まったクルーズ客船で新型コロナウイルスが騒がれていた頃は、どこか遠くの地域の出来事のように感じておりましたが、日を追うごとに感染者が増加し、2月28日から突然学校が休校になり、また4月に入ってから国が緊急事態宣言を出すなど、わずか数か月で世の中が大きく変化しました。目に見えないウイルスが、東京オリンピックを延期させるほど、こんなにも脅威だとは思っていませんでした。

懇親会を始めイベントや会議なども開催自粛となりましたが、秋田県は5月の連休明けから自粛がだいぶ緩和され、本日の会議も開催できることになりました。少しずつ元の生活に戻りつつありますが、国が提唱する「新しい生活様式」を実践し、慣れるまでには少し時間がかかると思います。1日も早い終息を願うものであります。

さて、今回の地域協議会から再任4名、新任8名、計12名の第5期目の委員の皆さんでスタートとなります。地域協議会の経験者よりも、初めての方が多スタートとなりました。地域協議会は、本日の資料の中にありますが、平成17年の市町村合併を機にできた組織で、皆さんから意見やアイデア、地域の情報などの「声」をあげていただき、それぞれの地域の特性を活かしたまちづくりを進めていくため、その声の代表だと理解していただければいいかなと思います。

昨年度までは、太田支所管内である程度裁量がある「地域枠予算」の審議に相当な時間がかかっておりましたが、第5期からこの地域枠予算の審議が無くなり、地域協議会の原点に戻って、地域の課題の掘り起こしや課題解決のための話し合いなどに時間をかけることになりました。また、各地域で工夫した「地域の魅力再発見事業」を毎年行っております。太田地域であれば、中里温泉と太田分校が連携した「太田分校レストラン」や中里温泉とコミュニティバスが連携した「コミコミ！バスプラン」などですが、この魅力再発見事業について、地域協議会の皆さんからアイデアを出していただくことが新たな地域協議会の役割になりました。

地域の課題解決や地域活性化の推進は、すぐに解決できるもの、すぐに事業化できるものと、じっくり時間をかけて検討して解決を図ったり、段階的に事業化していくものなどさまざまだと思いますが、委員の皆さんと共に3年間、少しずつ第5期目の地域協議会としての成果を上げていきたいと思っております。

そのために今年度は、太田地域をさまざまな面で知っていただくことを柱に進めていきたいと考えております。地域を知ることによって、課題や問題点、そして他地域に自慢できることなどが見えてくるのではないかと思います。学校風に言えば、フィールドワーク

と机を並べての協議と合わせながら進めていければと考えております。  
それでは、本日の協議会、よろしく願いいたします。

**【支所長 出席職員紹介】**

**○支所長**

本日は定数の半数以上の委員の皆様から出席いただいておりますので、会議が成立しますことをご報告いたします。また、会議録を作成しなければなりませんので、発言の際はマイクをご使用くださいますよう、あわせてお願いします。なお、皆さん会議室が広いなと感じておられると思いますが、コロナ対策ということで間隔をとっております。マイクをお渡しする際、大変失礼ですが皆さんの机の前を歩かせていただきますのでどうかご了承願います。

それでは次第の3番、「委嘱状の交付」を行いたいと思います。お名前を読み上げますので、その場にお立ちくださいますようお願いいたします。

**【支所長 委嘱状交付】**

**○支所長**

4月1日付けの委嘱状ですが、今日の交付になってしまいました。どうか皆様よろしくお願ひしたいと思います。

次に、次第の4番、「会長及び副会長の選任」を行いたいと思います。皆様にお諮りいたしますが、会長及び副会長の選任にあたり、進行役を委員の中の最年長者である水谷仁光委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(「異議無し」の声あり)

**○支所長**

それでは、すみませんが水谷仁光委員、どうか進行役をお願いしたいと思います。なお、ここで、進行の打ち合せを行いますので、暫時休憩とさせていただきます。

(午前10時17分 休憩)

---

(午前10時18分 再開)

**○水谷仁光委員 (以下「水谷委員」と表記)**

皆さんこんにちは。初めまして、水谷といいます。最年長者ということで、この前まではそういう感じでなかったんですけど、4年目に入りましたら最年長者になりまして、突然ここに座ることになりました。暫時の間ですが、一つご協力よろしく願いいたします

す。それでは、座らせていただきたいと思います。

それでは、次第にあります4番目の「会長及び副会長の選任」に入りたいと思います。ここで皆さんにお諮りしたいんですが、会長及び副会長の選任にあたってどのようにして進めたらいいのかなと思います。皆さんから意見を聞きながら、今日の参加者の委員の皆さんで会長、副会長が決まるということになりますので、どのような方法で決めたらよろしいでしょうか。皆さんからご意見賜りたいと思います。

#### ○高橋直博委員（以下「高橋（直）委員」と表記）

はい。年長者である再任の水谷さんにそのまま会長にお願いしたいと思います。

#### ○水谷委員

他に皆さん、自発的にぜひやってみたいという方、いらっしゃらないでしょうか。もっと別の方法はございませんか。

（「異議無し」の声あり）

#### ○倉田吹紀子委員（以下「倉田委員」と表記）

今、「異議無し」の声がたくさん出ておりますけれども、次の年長者の倉田です。やはり水谷さん、集落活動を大切にしてくださっていただきまして、私も前回からこちらにお世話になっております。よくお話しされるのは、「特別なことはしていないけれども、当たり前のことしているのだ」とおっしゃいます。その中で、町のこととか、市のこととか、とても経験とネットワークをお持ちで、ここに来た時よくわからないまま組織に入ったんですけれども、とても頼もしい方だと思っておりました。ぜひ会長さんをお願いしたいものだと思います。皆さんと同じです。

#### ○水谷委員

かなり褒められて、断る理由が無くなりました。皆さんがせっかくそう言ってくださるのであれば、つたない者ですけれども、皆さんの協力を得ながら会長職を務めさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

（拍手あり）

#### ○水谷委員

次に副会長の選任に入りたいと思います。副会長の選任なんですが、皆さんの方から意見等ございませんか。どのような方法で副会長を選任したらよろしいでしょうか。どなたか推薦、自薦あると思いますが、皆さんの方からご意見ございませんか。

#### ○高橋（直）委員

再度、高橋でございます。再任の方々の中で、女性である方から選任をいただいた方が  
良いのではないかとと思ひまして、自分は小松江里子さんを推薦したいと思ひます。

#### ○水谷委員

今、高橋委員の方から、小松江里子さんを副会長に推薦する声が出ました。皆さんい  
かでしょうか。

(「異議無し」の声あり)

#### ○水谷委員

異議無しの声がありましたので、小松江里子さんの方にお願ひしたいと思ひますが、よ  
ろしくお願ひいたします。

(拍手あり)

#### ○水谷委員

それでは、会長・水谷仁光、副会長・小松江里子さんということで決まりました。

私の任はここまでということになりますので、一旦休憩をさせていただいて次の議事  
の進行の打合せをさせていただきたいと思ひますので、若干休憩とさせていただきます。

以上です。ありがとうございました。

(午前10時24分 休憩)

---

(午前10時26分 再開)

#### ○支所長

それでは、会議を再開いたします。ここからの進行につきましては、規定により今会長  
になりました水谷会長にお願ひいたします。どうか、よろしくお願ひします。

#### ○水谷仁光会長（以下「会長」と表記）

それでは、令和2年度第1回の太田地域協議会を開催したいと思ひます。

次に、次第の5番目にあります「会議録署名委員の指名」をいたします。今回の会議録  
署名委員には、倉田吹紀子委員、それから藤本重政委員にお願ひしたいと思ひますので、  
よろしくお願ひいたします。

次に、6番「報告」に入ります。(1)「第5期地域協議会委員及び委員の役割等」につ  
いて、事務局から報告をお願ひいたします。

#### ○事務局（地域活性化推進室）

【第5期地域協議会委員及び委員の役割等について、資料に基づき説明】

○会長

ありがとうございました。ただ今、事務局の方から報告がありましたけれども、皆さんから質問などありましたらお願いしたいと思います。なかなか盛りだくさんですので、行政が作った文書ですから、理解するのに難儀するかもしれませんが、ここだけは聞いておきたいなということがありましたら、質問ございませんか。

いきなり質問はありませんかというのも大変恐縮なんですけれども、さっき説明に当たりまして、今日は初回の会なので少し私も緊張しております。皆さんの自己紹介等をやれば良かったのかなと思っております。若干、座が固くなったのかなと思いますので、前後しますけれども、いま一通り終わりましたら、最後の方で、次回につなげるように自己紹介等兼ねながらやっていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

質問等については皆さんいかがですか。特にございませんか。

これは何も今回だけ質問できるというわけではなくて、次回でもいつでもいいですから。3年間任期ありますから、3年間この手引きを見ながら、ここわからないということがあったら、その都度質問してもいいことだと思います。やっぱり基本的なことがここに書いているので、このとおりにやればすごいことなただけけれども、なかなか難しいと思います。ですから、その都度、太田の支所の方で向かっている方向がどこなのかを、わからないものがあればとにかく聞きながら、走ればいいのかなどという風に思いますので、毎回これを持って来て、今回はこの所の話しているんだなと確認しながらいけば、わかりやすくなってくるのかなと思っておりますので、そういう質問の仕方もあるのかなと思っております。

とりあえず今回は、質問は無いということで、よろしいですか。

(質問・意見等無し)

○会長

それでは、質疑を終わります。

次に、(2)「令和元年度地域枠予算活用事業実績報告」について、事務局から報告をお願いします。

○事務局

【令和元年度地域枠予算活用事業実績報告について、資料に基づき説明】

○会長

ありがとうございました。ただ今、事務局の方から報告がありました。委員の皆さんの方から、何か質問等ございますか。

(質問・意見等無し)



## ○会長

それでは、無いようですので、質疑を終わりたいと思います。  
ここで一旦、休憩にしたいと思います。

(午前11時18分 休憩)

---

(午前11時25分 再開)

## ○会長

では、再開したいと思います。

それでは次に、(3)「令和2年度地域枠予算概要」について、事務局からの報告をお願いいたします。

## ○事務局

【令和2年度地域枠予算概要について、資料に基づき説明】

## ○会長

ありがとうございました。ただ今、事務局から報告がありました。皆さんから質問などありましたらお願いいたします。

## ○支所長

すみません、私の方から補足説明をさせていただきます。ここにご出席の委員の皆様方の集落で、既に地域枠予算を活用されたところもいくつかあります。各委員の皆様方、例えば自分の住む集落でも何でも結構ですので、「こういった事業に使えるよ」と大いにPRしていただきたいと思います。

令和元年度の実績を見れば、少し地域枠予算の使い方についてイメージできるのかなと思いますので、ぜひこれはどんどん活用していただくための予算、トータル1,000万円ではありますけれども、色々有効に活用できる予算でありますので、ぜひご利用ください。集落でも結構ですし、自分が参加しているサークルだとか、グループだとか、そういうことにも利用できますので、大いに活用していただきたいと思います。お願いいたします。

## ○会長

それでは藤本委員、お願いします。

## ○藤本重政委員（以下「藤本委員」と表記）

三本扇の藤本といいますけれども、地域枠予算で三本扇の農村公園のテングス病の処理

を2年かけてお世話になりました。大変有効に使わせていただきありがとうございました。  
単純な質問ですが、今回コロナなどで事業が中止になったりしたら、この金額というのはいくら繰り越すことになるのですか。

### ○事務局

はい、回答いたしますけれども、これはあくまでもこういった事業を想定して予算を置いているだけなので、その事業が無くなって代わりに別の事業が出て来た時は、そちらに予算を使うことは可能です。また、金額もある程度推定で置いているものですので、他の事業との行き来というのは可能です。総額1,000万円、これは変わらないんですけれども、その中での変更というのは可能です。

### ○藤本委員

何か探してみます。ありがとうございました。

### ○会長

他に、皆さんの方から質問等ありませんか。

私の方からで恐縮なんですけどよろしいですか。今、藤本委員の方からもお話しあったと思うんですけど、同じことのような感じがします。要は、各地域、今日初めての委員の方もいますし、今までの方もいます。いろんなこと、とにかく思いついたら、事業何か思いついたら、自分たちのサークルでもいいですし、それからグループでも、それから集落のことでも何でもいいんですから、「こういうのやってみたいけどお金かかるな」と思ったら、迷わず支所の方に相談をしていただいて、それが地域枠予算の対象になるかならないかを判断していただいて、そして使っていけば非常に有効だと思います。

「お金が無くて何もできない」ということではなくて、せっかくこの地域枠予算がありますから、とりあえず使えるか使えないかではなくて、「こういうのやってみたいけどどうなんだろう」ということですね。

### ○支所長

先ほど藤本委員から、「予算が残れば来年度に繰り越すのか」という話がありましたけれども、繰り越しにはなりません。毎年単年度ごとの予算になっている関係で、例えば太田で去年八百何十万円使って、百数十万円残して繰り越すかと言われてれば、大仙市全体の予算には繰り越しておりますけれども、それが太田の方に向けられるというわけではなくて、あくまでも今年は今年予算のトータル1,000万円の中で動くということになります。来年はまた、1,000万円つくかわかりませんが、来年は来年の予算で動くこととなりますので、コロナの関係でなかなか今までやれたことがやれない状況が続いておりますけれども、コロナに負けない予算の使い方を皆さんで工夫していただければと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

地域枠予算も結構浸透してきた感がありまして、ここ数年は、集落内の環境整備に多く

向けております。桜のテングス病だとか、会館の前の木が大きくなり過ぎたとか、墓地公園とか色々あるんですけども、基本的には協働型となれば、100パーセント市の方で助成しております。例えば皆さんの方から枝を集めていただくという協力をいただいておりますけれども、そういったこととか、あとは補助金タイプであれば、消費税は対象になりませんが、上限30万円で6分の5までとなれば、なかなかいい補助率かなと思います。

いろんな団体、補助金ですので団体にもある程度の自己資金が必要になりますけれども、そういったことにも向けられますので、ぜひ自分の住む地域、それから職場でも結構ですし、いろんな団体でこういうことに使えないかなということで、まず地域活性化推進室の方に相談いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

## ○会長

はい、他に質問ございますか。

(質問・意見等無し)

## ○会長

他に無いようですので、次に移りたいと思います。(4)「地域の魅力再発見事業」について、事務局から報告願います。

## ○事務局

【地域の魅力再発見事業について、資料に基づき説明】

## ○会長

はい、ただ今、事務局の方から報告がございました。皆さんから質問等ございましたらお願いします。

非常に難しい内容だと思います。資料を読ませていただいたんですけども、なかなかパツと浮かぶものはありませんでした。それでは前に進まないの、新聞の記事を見ていたら面白いことが書いていました。その地域の中で、「こんなものあったらいいな」とか、「あんなものあったらいいな」とか、「こんな食べ物あったらいいな」というのがヒントになるのかなという感じがしました。例えば、大仙市の中にはあるんですけども、太田には無いものとか、太田にはあるんですけども、それに付加価値をつけるともっとすごいことになるよというものとか、あんまり大きく考えないでやればいいのかと思ったんですけど、それ以上進みませんでした。

ただ残念なのが一つあって、前の前の回でしたか、小水力発電所の話私したことがあります。あれから、4月と今と行ってみました。たまたま今回これ来たので、「あ、これ使えるな」と思いました。ところがですね、決定的な欠点がありまして、4月に行った時はフルパワーで運転していました。フルパワーで60アンペアというと、よっぽど大きな

家が入ります。ところが今、代かきが始まりましたら700ワットです。700ワットということは、1キロワットにも満たないですから、100ワットの球7個つけるとつかなくなります。極端に言うと、ドライヤーも使えないということです。ですからそういう電気で、例えば電照菊だとか、例えば米粉を挽くとか、そういうのができないんですよ、電気の変動があり過ぎて。だからこれ困ったなと思っていましたけども、そういう発想もいいのかなと思いますので、参考までにちょっと私的なこととお話ししました。

皆さん他に何かございませんか。

## ○事務局

すみません、補足の説明になりますけれども、提案していただく事業案ということで別紙を付けさせていただいています。この中の「2. 事業の実施主体」ということで注意書きを付けさせてもらったんですけども、「市民が実施する、または市民と行政が協働で実施する必要がある」ということで、市だけが頑張るような事業ではないということ、市民もしくは一緒になって頑張る事業であるということを考えていただければと思います。以上です。

## ○会長

はい、補足説明がありました。いずれアイデアをいっぱい出しながら考えてみて、皆さんで出せるように努力するということにしたいと思いますので、よろしくお願いします。他にございませんか。

(質問・意見等無し)

## ○会長

無ければ次に、(5)「地域公共交通の再構築(案)」について、藤澤市民サービス課長から報告をお願いします。

## ○藤澤市民サービス課長(以下「市民サービス課長」と表記)

【地域公共交通の再構築(案)について、資料に基づき説明】

## ○支所長

すみません。この資料の中で、今市民サービス課長が話した部分は6ページ。ドアツードア型ということで太田でも目指していたんですけど、先ほど言ったようにバス路線と競合するところは駄目だということで、太田の方は実現しなかったというものであります。次の7ページが、大仙市全体の助成事業になります。75歳以上の方々に「のりのりきっぷ」なるものを発行するということです。8ページが、今大仙市でやっている市全体の地域公共交通の説明になります。太田に関係ある部分が、7ページが大きいのかなと。8ページについては、また色々課題を見つけて、課題解決のためにこれから検討を加えていく

ことになります。

### ○会長

はい、藤澤市民サービス課長及び支所長の方から、補足含めて説明がありました。皆様から質問等ございますか。

この事業は、今後チラシなどで家庭に配布になるんですか。

### ○市民サービス課長

今年度は、10月から実証運行する予定となっております、8月ぐらいに広報等で周知する予定となっております。

### ○会長

はい、わかりました。他に皆さんの方から質問ありますか。

(質問・意見等無し)

### ○会長

無いようですので、それでは質疑の方を終わります。

次に、(6)「令和2年度太田支所主要事業」についてお願いいたします。

### ○事務局

はい、事務局からです。資料は10番、「令和2年度太田支所主要事業説明書」ということで、市民サービス課から地域活性化推進室までの主要事業が資料としてありますけれども、これについては皆さんに事前に配付させていただいておりますので、この中をご覧いただき、もし質問があるようでしたらお受けしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

### ○会長

はい、それでは今、主要事業について事前に資料を配付しているので、皆さんの方からひととおり目を通していただけたものかなと提案がありました。これを見て、皆さんの方から質問等ありましたら受けたいと思っておりますが、ございますか。

これは毎回出てくるような資料じゃございません。ですから、この中の例えば自分の地域の関わりだとか、自分の集落の関わりだとか、自分のサークルだとかいろんなものがここに入っていますので、こういうところで予算を持っているというのを理解していただければありがたいという風に思いますが、皆さん意見等何かございますか。

(質問・意見等無し)

### ○会長

それでは、特段無いようですので、質疑の方はこれで終わらせていただきます。  
次は、7番「その他」になりますけれども、特に議題はありますか。

### ○事務局

特にございません。

### ○会長

はい、わかりました。一番最後になりますけれども、今回第5期の委員で初めての会議になりました。12時までという約束の時間、若干過ぎていますが、初めてですので一言ずつ皆さんの方から自己紹介兼ねてお願いしたいと思います。

私の方からいきます。田ノ尻の水谷といいます。3年終わって今4年目に入りまして、今回会長を仰せつかりまして、前の会長も水谷さんでした。今回も水谷ですけれども、親戚でも何でもなくて、偶然水谷が重なりました。ただ、話しを聞いていると、前の3年とこれから3年の地域協議会の中身がよっぽど変わって来たなという感じがします。前はいろんな行事関係だとか、予算関係の審議の方が中心でしたけれど、今度はいよいよ市の中身というんですか、行政のいろんなアイデアだとか、やり方だとか、色々なものが出て来るのかなと思います。どういうものが出て来るのかよくわかりませんが、皆で力を合わせながら、あまり難しく考えないで、素直にわからないものはわからないと言いながら、聞きながら、進めて参りたいと思いますので、一つよろしくお願いします。以上です。

それでは小松さんの方からお願いします。

### ○小松江里子委員

おおたスポーツクラブの小松といいます。体育協会とスポーツ少年団の事務局をしています。

スポーツ関係の情報なんですけれども、今年の9月2日・3日と開催される「第33回全国グラウンド・ゴルフ交歓大会」は、参加人数が1,728名規模の大会で、コロナウイルス関係で中止となってしまったそうです。来年度は青森が開催地に手を挙げているんですけれども、今後の日本グラウンド・ゴルフ協会との協議で、また来年秋田でやるかどうか検討するということでした。

それと、体育協会の支部対抗の競技も、8月の中旬頃まで全部中止となってしまったので、残念ですけれども、皆さんよろしく願いいたします。

これから3年間よろしく願いいたします。以上です。

### ○倉田委員

倉田です。三本扇から横沢に異動になりましたら、この組織に参加できないかというお声がありました。部落は違いますけれども、太田のことがこの年になってますますわかってくるのもこの会かなと思いました。

今は放課後児童クラブにお世話になっております。子どもがどんどん少なくなってきた中で、88人の生徒さんたちに来ていただいております。コロナウイルスで休校の間は半分以上来ていただいて、賑やかに、また本当に小学生らしい姿と心の変動が見られて、私たちがかつて子育てした時期とはまた違う子育て応援ができるなと思っているところです。よろしくお願いいたします。

### ○安達京子委員

真木苑の安達と申します。よろしくお願いいたします。私、真木苑に勤めてから二十数年になりますけれども、真木苑だけではなく、千畑の真昼荘、それから仙北の真森苑にも異動で勤務させていただきました。地域の方々との交流も結構あったんですが、やっぱり地元の真木苑に来ますと、なんとなく落ち着く感じがしております。

地域との交流は、今は特にコロナウイルスということで、ご家族の面会も控えさせていただいているところで、そこがちょっと残念なところでもあります。

これから地域の中で、自分にできることがあれば皆さんと一緒に考えて、少しでも地元のためになるようなことがあればと思って、今回この委員を引き受けさせていただいたところです。わからないことばかりですけれども、どうかよろしくお願いいたします。

### ○高橋英子委員

田ノ尻の高橋英子です。3月31日までJA秋田おばこに勤務していたわけですが、60歳定年で4月1日から自宅の方にいます。色々各地区、大仙市・仙北市・美郷町、3市町のJAを歩かせていただきましたけれども、やっぱり「自分の地域、自分の集落は、色々な活動をやってきて、すごいんだな」ということが毎回他の地域に行った時に感じられました。

女性ができることとか、また、これから継承していきたいこととか、これから皆年齢が上がってきて、「あ、これも教えてほしいな」と思うことがいっぱい残っているような気がしますので、そういうのを掘り起こして、地域と結びつけながら頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

### ○高橋（直）委員

農協太田総合支店の高橋直博です。どうかよろしくお願いいたします。出身は下堰であります。

自分も農協に勤務して三十数年になりますけれども、今年から太田に戻って来ました。主に大仙市の西部地域に過去6年ほど異動で通勤しておりました。そういう経験を少しでも活かしながら、また、このコロナウイルスで花の農家さんが非常に影響を受けているのではないかなという風に思っておりますので、少しでもその影響を緩和できるように、力になれるように努めて参りたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。

### ○藤本委員

三本扇の藤本重政といいます。新任で、今日説明を色々聞きましたけれども、このくらい太田地域も頑張っているんだなど。全部把握するのは、今日はとてもできませんけれども、一つ特徴としては、私も農協の方で園芸の役員を長くやっていますけれども、特色あるまちづくりとなれば、特にここは園芸がおぼこ管内でもダントツに一番だということで、一昨年5億円、去年は4億6千万円ですか。そういう特色のある地域です。すごくアイテム数も多くて、地域を元気にするためには何か利用できるんじゃないかなと思いつつ、説明を聞いていました。3年間よろしくお願いします。

### ○熊谷隆雄委員

横浜の熊谷隆雄と申します。熊谷鉄工の方で代表取締役ということで名簿に出ていますけれども、私も地域のいろんな係をやる機会が多くて、色々なことを考えながらやっています。特に少子高齢化と言われ、非常に子どもたちが少なくなっているのが顕著で、高齢の方がだんだん増えていくという、うちの両親もそうですけれども、そういう風になっていくところを目の当たりにしていますが、今回こういう形で委員ということで委嘱いただきまして、皆さんと一緒に考える機会をいただいたなと思っています。

いただいた資料の中には、多岐にわたる活動がございますので、勉強して少しでも役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### ○佐藤隆康委員

三本扇の佐藤隆康と申します。地域協議会ということで少し小難しいかなと思いましたが、周りを見渡せば面識のある方々ばかりで、ちょっとホッとしております。

今回、消防団ということで参加させていただきました。地域のことに關してですが、交通指導隊もやっております。あと自主防災の方にも携わっております。消防団に限らず、地域のことに關してこれから皆さんと世間話をするに当たっても、色々具材が増えたなと感じております。これからもどうかよろしくお願いいたします。

### ○伊藤和子委員

中里の伊藤和子です。主婦、農業です。この度は、勉強になるし地域の色々なことを学べるかなと思って、今後皆様方と一緒に、協力できる範囲で私も頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### ○会長

はい、どうもありがとうございました。委員の皆さんには、3年間これから大変ご難儀かけますが、一つよろしくお願いいたしますと思っております。

事務局の方からございますか。

### ○事務局

事務局から一つだけ。この会議は、2か月に1回程度を予定しております、次回は7



月に開催したいと思っております。開催の前に皆様にご案内の通知を出しますけれども、約1か月前には通知を差し上げますので、ぜひご出席いただければと思います。ただ、内容についてはまだ決まっておられませんけれども、フィールドワーク的なこともやってみたいと思っておりますので、どうか1年間よろしく申し上げます。以上です。

## ○会長

それでは、特に皆様の方からございませんか。無ければ、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。

長時間にわたり、大変ありがとうございました。初めての司会で大変皆様にご迷惑おかけしましたけれども、何とかこれからもよろしく申し上げます。本当にご苦勞様でございました。

(午後0時16分 閉会)

---

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員

倉田 吹紀子

---

藤本 重政

---